

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運營業務」	
事業の実施者	団体等	公益財団法人 横浜市国際交流協会
	行政	横浜市南区地域振興課
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動（以下「市民公益活動等」という。）並びに外国人市民、外国人コミュニティ及び国際交流機関の支援（以下「多文化共生事業等」という。）を通して、市民の理解と参画のもとに、市民力の向上と豊かな地域、異なる文化や生活習慣への理解を深める交流の拠点づくりを図る。	
事業の内容	ア ラウンジの管理運営に関すること イ ラウンジの事業に関すること ウ 事業改善に関すること エ その他ラウンジの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	
役割及び責任分担等	契約書のとおり	
実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	

記入日	令和 5 年 4 月 12 日
記入者	・団体等名： 公益財団法人横浜市国際交流協会 ・記入責任者 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ館長 氏名： 日下 晋輔 連絡先： 232-9544
	・部署名： 南区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 斎藤 昌代 連絡先： 341-1238

## 2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

### 事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

ラウンジ定例会、まるごとみなみ定例会が定着し、個々の事業の計画段階から課題ややるべきことの共有ができてきた。

#### 【今後改善が必要と思われること】

今後は年間の目標とスケジュールを共有しながら、個別の事業計画、企画を検討する。また、対面イベント等の増加に伴い、市民活動支援と多文化共生の双方の強みを活かした企画について検討していく。

### 事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

多くの事業に区も参加し、実施状況について共有できた。その後の報告書等を通して、全体共有をはかっている。今後も双方の役割分担について事前確認を行いながら進めていく。

また、事務改善の意識を共有できているため、個別の事業毎に見直しが必要なことがないか、引続き改善をはかっている。

#### 【今後改善が必要と思われること】

今後は、事前の情報共有を行い、業務全体の視点で区とラウンジ双方の役割を確認しながら業務を組み立てる。新型コロナウイルス感染症対策についてもこれまでの対応を踏まえつつ事業を企画・実施していく。

### 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

まるごとみなみ施設間連携事業では、研修テーマや講師選定、方向性について区と共に考え進めることにより、目指す施設間連携のあり方について検討し、令和4年度は研修を通じたスキル向上、各施設の情報交換会を実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大により減少していた施設間連携の土台づくりを行った。

日本語教室については利用者から要望のあった保育の試行に取り組み、支援団体と利用者のサポート体制を整えた。引続き利用者のニーズを汲みながら今後の事業に反映させていく。

団体登録、サークル登録の一本化に取り組み、利用者にもわかりやすく、事務効率化にも繋がっている。

### 自由記入欄

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、市民活動支援センターと国際交流ラウンジの両機能を併せ持つ施設であり、同様の形態は市内にはない。引続き地域の情報収集を行い、登録団体や街の先生、多文化ボランティアなど、ラウンジの持つ人材を活用し、コーディネート幅を広げていく。